

松本の書物

花開く出版文化と芸術

本州の中央部に位置する信州、さらにその中央を占める松本は、江戸時代には城下町として発展し、そこに暮らす人々は、身分を問わず芸術に親しみ、豊かな書物文化を育ててきました。一方で、江戸時代は商業出版文化が隆盛を極めた時代もあり、19世紀には、この松本でも盛んな出版活動が展開されはじめました。この地に根差しています。このたびの特別展では、旧制松本高等学校旧蔵資料を含む信州大学附属図書館所蔵の貴重書を展示し、松本の書物文化を紹介します。この地に根差していた文化基盤と、その精華としての書物の姿を味わっていただければ幸いです。

2026年

1月31日(土)～3月22日(日)

旧制高等学校記念館 1階ギャラリー

ギャラリートーク 2月28日(土) 11:00- / 14:00- (各回30分)
解説 速水 香織 教授 (信州大学人文学部)

【主催】信州大学人文学部
信州大学附属図書館
旧制高等学校記念館

【問合せ先】信州大学附属図書館中央図書館
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
Tel: 0263-37-2172 (平日 9:00-17:00)